





夜の部 (午後八時より) 於宴會場

一、靈交術

松旭齋 大 花 子 洋

二、足の踊

春風 胡蝶齋

三、四人滑稽

たぬきや 金 朝

やま と

喜 好 奴

丸一 榮次郎

電話銀座(57) 代號表 { 四〇〇二〇一 }
六〇〇二〇一

梗

概

極端に貧しい、而し元氣に充ちた、若い畫家達が一人の美しい純情の少女である、モデル娘を取り圍んで、如何なる目標の下に自己の生活を進めて行かうとするか、水谷八重子氏以下、藝術座諸君に依つて上演される「ドモ又の死」を御覽下さいませ。

配 役

花 田	若 き 畫 家	根 本	淳
澤 本	同 (渾名、生 蕃)	宮 島	啓 夫
戸 部	同 (渾名、ドモ又)	高 橋	潤
瀬 古	同 (渾名、若 様)	青 山	圭 男
青 島	同	田 邊	若 男
とも子	モデルの娘	水 谷	八 重 子

7 露西亞舞踏

8 デュデュデュイ

9 タンゴ

10 ファイナレー

有島武郎氏作

三、演劇

「ドモ又の死」

一幕

藤田繁

堺千代子

瀧久子

星松美

藤田繁

堺千代子

全員

藝術座

3 ガボットベツケル
4 小人の踊 武井守成曲

5 優しい小母さん 吉田晴風曲

6 ハンガリアンダンス ブラームス

瀧	星	泉	久	堺	泉	久	三	北	藤	星	堺
			松	千		松	浦	村	原		千
久	松	二	文	代	二	文	花	季	千	松	代
子	美	葉	子	子	葉	子	恵	代	鳥	美	子

C. シューベルト

番外 「居ればよかつた」ブラウムス

二、舞

踊

藤田、堺舞踊研究所出演

1 支那娘

瀧久子

星松美

北村季佐代

三浦花恵

藤原千鳥

久松文子

泉二葉

2 おもちやの兵隊 シェツセル

藤田繁

クリスマス祭餘興番組（於帝國ホテル演藝場）

……夜之部（午後七時半より）

一、邦語獨唱

永井郁子

伴奏 黒川孝子

子守歌 三曲

A. プラウムス

B. モヅアルト

梗

概

極端に貧しい、而し元氣に充ちた、若い畫家達が一人の美しい純情の少女である、モデル娘を取り圍んで、如何なる目標の下に自己の生活を進めて行かうとするか、水谷八重子氏以下、藝術座諸君に依つて上演される「ドモ又の死」を御覧下さいませ。

配 役

花 田	若 き 畫 家	根 本	淳
澤 本	同 (渾名、生 蕃)	宮 島	啓 夫
戸 部	同 (渾名、ドモ又)	高 橋	潤
瀬 古	同 (渾名、若 様)	青 山	圭 男
青 島	同	田 邊	若 男
と も 子	モ デ ル の 娘	水 谷	八 重 子

7 露西亞舞踏

8 デュデュデイ

9 タンゴ

10 フイナレー

有島武郎氏作

三、演劇

「ドモ又の死」

一幕

藤田 繁

堺 千代子

瀧 久子

星 松美

藤田 繁

堺 千代子

全 員

藝術座

3 ガボットベツケル
4 小人の踊 武井守成曲

5 優しい小母さん 吉田晴風曲

6 ハンガリアンダンス プラームス

瀧	星	泉	久	堺	泉	久	三	北	藤	星	堺
			松	千		松	浦	村	原	松	千
久	松	二	文	代	二	文	花	季	千		代
子	美	葉	子	子	葉	子	恵	佐	鳥	美	子

A. 証城寺の狸囃子
B. 東京行進曲

二、舞

1 支那娘

2 おもちやの兵隊 ジエツセル

藤田、堺舞踊研究所出演

瀧	星	北	三	藤	久	泉	藤
久	松	村	浦	原	松	二	田
子	美	季	花	千	文	葉	繁
	佐	佐	惠	鳥	子		
	代						

クリスマス祭餘興番組（於帝國ホテル演藝場）

……晝 之 部（午後一時半より）

一、奏

樂

豐島園音樂隊

指揮者 久松 鑛太郎

番外 讚 美 歌

六 十 番
かみにはさかえ

1 星條旗の下に

行 進 曲

スウザ

2 輕 騎 兵

序

曲

ズツパ

3 童謡と小唄

クリスマス祭 プログラム

晝の部

御食事

大宴會場

(午前十一時半より
午後一時まで)

大宴會場
表食會場
グリル大食堂

(午後六時より
午後八時まで)

餘興

演藝場

(午後一時半より)

演藝場
宴會場

(午後七時半より
午後八時より)

音楽

豊島園音楽隊
波多野オーケストラ

豊島園音楽隊
波多野オーケストラ

會費

金 参 圓

金 四 圓

御申込

十二月二十三日迄に宴會係事務所へ御申込下さい 期日前でも

満員に達しますと御辭退致します

大宴會場の食卓は六人其他は四人を一卓の單位と致します

ダンスは午後八時半より(表食堂、グリル食堂)

御 案 内

本年も愈々押迫り御多忙の中に皆様御機嫌克く御活動の御事と御喜び申上げます。

玆て来る十二月二十六日吉例に依りクリスマス祭を催します。獨特の御献立に、面白き餘興を添へ、高尙の音楽に伴れて、御子様方への御愛嬌に、サンタクロスの贈物など、御家庭の御團欒に、御社交のために、此の一日一夜は誠にふさはしきものかぞ存じます。

何卒御利用下さいます様、御案内申上げます。

昭和四年十二月

帝國ホテル 支配人

クリスマスの催し

帝國ホテル





新第
二
三
四
録 堂
号 一 二

むかしもむかし三千年
はななきにほふはる八日
ひきわたつたひとこえほ
天にも地にもわれひとり

りつばな國にうまれいで
富も位もありながう
ひとりお城をぬけいで
六とせにあまのおん苦行

ある世えのまへはか
と一への門よりあふるき
かわける人にふりまいた
かんろの水はかきりなき

なん年たってもかわらずに
さいたまなるのりの花
きれいなひとをむねは
わたりもまはすはげまき

聯合花まつり會

うこん世物名

香羊仙

仙の
 香の
 光の
 花の
 煙の
 香の
 花の
 煙の
 香の
 花の
 煙の



香羊仙
 服薬に
 効到

香羊仙
 花の
 煙の

第拾四回 花まつり大會

奉祝奏樂……………陸軍戶山學校軍樂隊

一、花御輿渡御

午前七時出發

一、誕生佛ヲ花御輿ニ奉安シ式衆、修驗道、一如洞、學生團供奉

二、順路——淺草公園本部……………雷門……………上野……………須田町……………日本橋……………京橋……………銀座
……………愛國生命保險……………日比谷新音樂堂……………舊音樂堂

三、駐御所——上野松坂屋……………三越……………白木屋……………高島屋……………松屋……………銀座松坂屋
……………報知新聞社

二、第一部 祝式

正午(新音樂堂)

一、青年大會

(奏樂……………洋樂)

一、奉佛遷座

五、淨香水奉獻

九、國歌合唱

二、開帳(雅樂)

六、傳道旗奉安

十、勅語捧讀

三、供華

七、獻香

十一、歎德文

四、醍醐味奉獻

八、開會宣言

十二、花まつり讃歌

二、聯合大會

(奏樂……………和樂)

一、導師登壇

五、各宗代表者獻香

九、各團體花供養

二、總禮拜

六、天童禮讚舞

十、宣言朗讀

三、表白文

七、修驗道讀佛

十一、閉式之辭

四、灌佛式

八、一如洞禮讚

十二、閉帳(雅樂)

三、第一部 奉樂

午後二時(新音樂堂)

一、兒童劇……………心の會日曜學校

二、里神樂『三輪の杉』……………一郷廣長社中

三、演奏『曲目ハ別紙ニヨル』……………陸軍戶山學校軍樂隊

四、第三部 禮拜

午後二時(舊音樂堂)

一、法樂……………式衆

二、禮拜……………一般公衆

世出花記大り金

第十四回

日比谷奇樂堂主
昭和四年四月八日正午

金
花
記
大
り

金